

feature interview

DJ KANGO

DJだけでなくダンサーとしても第一線で活躍し、独自の視点でこだわり続けるDJ KANGO。過去の巻頭インタビューを要チェック!

■先日“RED ZONE”が5周年を迎えましたが、始めた当時から現在までを振り返っていきましょか?

5年間を振り返るとあつという間のような気がするんだけど、よくよく考えると色んなことがあって、5年って短いかもしれないけど続けることが一番。「継続は力なり」じゃないけど苦労があったからこそ今があるってことが最近わかってきましたね。最初は、毎週お客さんを相手にやることに厳しさみたいなものがあって、途中で「キツイなあ」「精神的に潰れそうだな」っていうことが何回もあったんですよ。そんな中でもいい思い出を忘れずに悪い思い出はなるべく振り返らないようにしながら、お客さんとコミュニケーションをとって色んな意見を聞いて、自分を見つめ直していきましたね。そうやって続けてきて、ここ最近やっと自分に少し余裕ができて、楽しめるようになってきたんですよ。すごく時間がかかったんですけど(笑)。

オレらが求めているような音だったり発信しているものを意識してくれる人がだんだん増えてきたと思うんで、そういうアンテナ張ってくれてる人に最先端のものを提示しつつ、でもあんまり媚びずにDJしていくバランスが大事なんだって思ってます。HARLEMって独特のものがあって、他の箱でうまくいったからと言ってHARLEMで同じセットをやるかって言ったら絶対無理で。逆に言えば、自分の中で一番新しいことだったリトライしてみたいことは、他では無理だけどHARLEMではできるし。だから今は、オレたちの感性をいって思ってくれてる人だけじゃなくて、色んな人に伝えたいなって思えますね。強制する気は全くないし合わない人はしょうがないなって思うけど、どうにかして誘導すればわかってくれるんじゃないかなってのがあるから、これからもそういう部分をうまくやっていけたらいいなって思ってます。

色んな外タレとセッションしてきて凄くレベルの高いものにも触れることができたし、自分が持っていないものをたくさん見ていい部分を吸収できたし、カルチャーショックを受けながら「オレだったらこうやる」ってのを前向きに考えるのが楽しくて。何よりもHIP HOPを軸に色んなジャンルを混ぜつつ遊び心を持って自由に楽しむってことを学びましたね。5年の間には仲間うちでもなかなか歯車が合わない時期もあったりしたけど、今はそれがガッチリと噛み合ってきたのを感じるから、それがやる気にもつながってるのかなと思いますね。自分を慕ってくれる若手のDJ達にもいい影響を与えてあげたいなって思うし。そういう意味では、精神的に成長させられた部分が大きいかな。テクニックとか技術的な部分もちろんあるけど、気持ちの持ち様が変わって来るって感じますね。ブースに立った時にその日の自分の調子がわかるようにも、内面の部分を乗り越えられるようになったし。最近はDJやってホントに面白いんですよ。こっちがテンションあげていくとお客さんが喜んで踊ってくれるっていうキャッチボールみたいなものも楽しいし。到達点はわからないけど納得できるところまで突き進みたいっていう性格なんで、どんどん学べるというか、自分の中でどんどん目標ができてきますよ。現

場で学ぶのが一番だと思うから、5年間HARLEMでやってきたからこそ自分が前向きになったんだって改めて感じることも沢山ありますね。

■KANGOさんにとってDJ KOYAの存在は?

誰かにくっついて頼ってばかりいても結局はその人の次になっちゃうし、仲間に頼るんじゃないって仲間のために自分が力をつけたいんだと思う。そうすれば自然と実力もついていい方向へ進むはず。だから、仲間はリスペクトしながら張り合っていくもので、そういう意味ではDJ KOYAは永遠のライバルですね。最大のライバルでもあり、最高のパートナーでもある。彼からの影響って凄く大きいし、ファッションにしても音楽にしても、常に新しいものにアンテナ張ってる人間だから、オレはオレで新しいものにはアンテナを張って競い合ってるんだけど認め合ってるって存在ですね。

だから彼のプレイを聴いて「悔しい」って思いたいですよ。それが自分のバネにもなるし、常に刺激をくれるから刺激を受けてるだけじゃなくてオレも刺激を与えたいんですよ。そういうことはあまり話さないけど、話さなくてもお互いが解ってると思うし。

■海外のDJで一番印象に残っている人は?

やっぱりDJ AMですかね。スクラッチのスキルもあって、MIXのテクニックもあって、なおかつ曲の遊び心もあって。KID CAPRIを見た時の衝撃に近いものがありましたね。彼の独特のスタイルに魅力を感じるという面白みがありますよね。STRETCHは長年見てるんだけど、ホントにオリジナルだと思う。N.Y.で若いDJたちが影響される理由も解るし、常に先へ先へ、奥へ奥へ突っ込んでいってる人だから、ある意味最先端というか「この人を見ないではいられない」って感じです。「STRETCH今日やるよ」って聞いて、家に居ることはできない存在。様々な外タレのプレイの中からいいものを刺激として受け止めて、自分なりに消化して発信していきたいと思えます。外タレに限らず自分がいいなって思ってるDJたちのプレイを聴けると、発想力も広がるし頭も柔らかくなるんですよ。そういう意味ではみんな大先生ですよ(笑)。

■頑張っている若いDJたちに一言。

壁にぶつかるのは絶対誰にでもあることなんで、わからないことや迷ってることがあってもとにかく続けていくことが大事だと思いますよ。継続していくことで後々解決することもあるし。あとは追究心ですよ。「これくらいやればいだろう」というような自信は一生必要ないものだと思うし、「自分は物足りないな」って思うことでもっと上を目指せるようになるはず。そのためにはレベルの高いもの、自分の好きなもの、尊敬しているものをたくさん見て、諦めずにやり続けることが一番いいと思えますよ。苦しい時期もあるとは思いますが、そこでへこまずに前向きになって挑戦者の気持ちで進んで行くのが絶対にいいですよ。そうすれば何かしら見えてくるから。とにかく、自分を信じて自分の可能性を引き出すために努力すればいいんだと思います。



例えば、人の反応って凄くわかりやすいお客さんってけっこうシビアなんで、フロアをうまく盛り上げられないってこともあると思うんですけど、そこで「オレには合わないからこれでいいや」って思うんじゃないかって「どうにかこれを誘導する方法はないのか?」って考えることが大事だと思うんですよ。ラジオのDJなんかと違ってクラブDJって自己中心的になり過ぎると面白い世界なんで、何かを感じて何かを考えることが大切だと思います。

■今後のビジョンは?

とにかく現場でやることですよ。日本だけに留まらず、海外に行ったりして自分の可能性を試したり挑戦してみたいかな。前はトラックを作ってプロデュースをしたりもしたけど、今はそういうことよりDJってものに対する追究心を大事にしたいという。そのためにはどんどん視野を広げて、アメリカだけに限らず色んな国に行って吸収して挑戦していきたいなってのがありますね。今はそのための地固めの時期で、年齢とかも関係ないなって思ってる。もっと早くにやっていたらと思うこともあるけど、今だからこそ気付けたのかなってことも凄く沢山あるから。何か成功させるっていうんじゃないって、単純なだけでまずは挑戦して自分の中で色々感じていければいいんですよ。

とにかく前向きにマイペースに一つ一つ大事に挑戦して行って、自分をどんどん出せるようにしていけばいいのかなって思ってます。それはダンスも同じでどんどん挑戦していきたい。とにかく満足しているのはつまらないというか、普通に生活しててもつついDJのこととかダンスのこととか考えちゃうんですよ。「あの曲何だっけ」って思うとそのことばかり考えちゃって、一日中インターネットで探したりしてて。ダンスも同じで、いい意味で自分の生き方とかライフスタイルをダンスを通じて伝えていきたいと思ってます。今の日本のダンスシーンの現状に対して疑問もあるけど、日本でやってる人たちに対して否定をしているわけではなくて、オレはオレのやり方を作りたいなと。そのやり

方で若い子たちに新しいルールというか形を作っていければいいかなって。ビジョンはあるんで、それを言葉でというよりは形にしてみんなに伝えられたらなって思えますね。DJにしるダンスにしる、やりたいこととやっていくべきことがやっと自分の中で見えてきたんで、それを素直に行動に移して楽しみながらやっていきますよ。

■最後にメッセージを。

音に関して言うと、普段聴いているものと比べて“RED ZONE”で流れるものはちょっと違って異色なものだって感じる人もいると思うんですよ。それをあんまり抵抗なく聴いてもらえるように努力はしてるんで、あまり考えずに自然に踊ってもらえたらいいかなって思えます。オレらはHIP HOPに色んなものを混ぜてやってるけど原点はちゃんと解ってやってるし、ジャンルにこだわらないDJのやり方が楽しくなってN.Y.で肌で感じて、それを日本でバランスよくやっていけたらと思ってるんで、その雰囲気を楽しんでもらえたらなと。

難しいことをやってるって思ってる人もいるかもしれないけど、ある意味直球でやってるって思ってるんで。オレ的には音とダンスとみんなのSOULだったりHEARTの融合ができたらいなって思ってるんで、みんなで楽しめる場を作るようにということと、常に新しいものを発信するようにということは心掛けてますね。今までであることだけでなく、自分たちでクリエイティブしていきたいんで、遊びに来てくれたら確実に何かしら感じ取ってもらえると思えますよ。あとHARLEMのレギュラーパーティーの火・金・土曜にはそれぞれ色があるから、実際に遊びに来て体感してみてください。特に火曜日がオススメかな(笑)。